

2014. **5.30** (金) 15:00 ~ 17:00

要申込み

会場：東北大学東京分室

〒100-0005 東京都千代田区丸の内 1 丁目 7 番 12 号サピアタワー 10 階

Tel. 03-3218-9612 <http://www.bureau.tohoku.ac.jp/somu/bun/bun.html>

※聴講ご希望の方は、お名前・連絡先・勤務先を下記までお知らせください。

Tel. 022-795-7580 または E-mail: gon@cneas.tohoku.ac.jp

(東北大学東北アジア研究センター内 東北アジア学術交流懇話会事務局)

〆切 5/23 (金)

講演 1 **日本における大気汚染の現状と未来：
越境大気汚染はどの程度問題か？**

永島 達也 (ながしま たつや)

独立行政法人国立環境研究所地域環境研究センター
大気環境モデリング研究室 主任研究員

大気化学・気候モデルと呼ばれる数値モデルやスーパー・コンピュータを使ってアジア地域における大気汚染物質分布の再現や将来分布の予測を研究。

講演 2 **越境大気汚染における科学と政治**

明日香 壽川 (あすか じゅせん)

東北大学東北アジア研究センター教授 / 東北大学環境科学研究科教授
大気汚染問題、地球温暖化問題、エネルギー・ミックス問題などのエネルギー環境問題を政治経済学的な側面から研究。日本および中国における環境対策の制度設計にも詳しい。

PM2.5 問題は 東北アジアにおける 緊張緩和のきっかけとなるか？ —越境大気汚染の現状と課題—

中国における大気汚染問題は、原因物質の一つである PM2.5 が飛来して健康に影響を及ぼすのではないかと懸念から、日本や韓国でも多くの人の関心事となっています。また「隣国として中国の環境問題解決に向けて積極的に関わっていくべき」という考えから、日本・中国・韓国の間にある政治的緊張関係をほぐすきっかけになるのではという期待もあります。本講演会では、PM2.5 による大気汚染の現状と課題を確認しながら、自然科学と社会科学の両面から解決策を探ります。